

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 常葉大学大学院初等教育高度実践研究科
コラボ研修プログラム	事業名： NITS・常葉大学教職大学院コラボ研修
支援事業報告書	誰一人取り残さない Well-being な時代を目指してこれからの教育に期待すること
	研修等名：【NITS・常葉大学教職大学院コラボ研修③】 「テクノロジーが生み出す Well-being」～科学研究と企業から見てきたもの～
	開催日時：令和6年1月26日（金）午後2時～4時30分 開催場所：常葉大学静岡草薙キャンパス 常葉大学センター 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町 6-1 参加人数：一般参加教員(13)、教職大学院生(13)、学部生(9)、大学教員(7)、計42名

内容：

まず、株式会社 QD レーザ代表取締役社長である菅原充氏から「テクノロジーが生み出す Well-being」～科学研究と起業から見てきたもの～というテーマで講演をいただいた。菅原氏は、光通信・光配線用の量子ドットレーザの基礎研究から実用量産化までを手掛けるパイオニアで、富士通の研究所に勤務していた頃から現在の会社を立ち上げ、レーザ網膜投影機器を開発するまでの足跡について、資料を基に丁寧に話をしてくださった。特に、ロービジョンという視覚障害者への関わり方については、ただ単に「見えない」ものを「見える」ようにするのではなく、本人にとつての「働くこと」、「移動すること」、「楽しむこと」に寄り添うことが重要であると教えてくださった。講話の後半に提示されたドキュメンタリー調の4本の動画には、レーザ網膜投影機器を手にするにより、ロービジョンの方の表情はもとより生きることへの考え方そのものが明るくなっていく様が映し出され、正に Well-being と深く関わった取組であることを知ることができた。

グループワークでは、職種に関係なく年齢が近い者同士で6つのグループをつくり、講演を基にした意見交流を行った。それぞれが感じたことを自由に出し合いながら共通点を見付け、キーワードを生かしながらホワイトボードにまとめていった。菅原氏の講話についての率直な感想はもちろんのこと、参加者自身が考える well-being についての意見がたくさん出された。視覚障害者のためにレーザ網膜投影技術を開発したというエピソードに関しては、特別な支援を要する児童生徒への関わり方や伴走者としての教師の在り方について考えさせられたという感想も聞かれた。

グループワークの後には、グループごと話し合った内容について発表し、情報共有する場を設けた。菅原氏からは、研修のまとめとして、参加者から出された質問に対する回答やグループ発表の指導講評等をいただいた。

様々な苦労を重ねる中で世界中から注目される技術を開発した菅原氏の講話は、非常に興味深く、一見教育と無関係であるように見えて、教育的な要素をふんだんに含み、コラボ研修の最後を飾るのにふさわしい示唆に富んだものであった。

成果：【事後アンケート結果】

- 1 本研修全体を通して、この研修は有意義でしたか：とても有意義（83%）、概ね有意義（17%）
- 2 講演会の内容について：大変よかった（80%）、概ねよかった（20%）
- 3 グループワークの内容について：大変よかった（80%）、概ねよかった（20%）

<自由記述より>

- ・教職員の知らない世界を知って驚くとともに、感動で胸が熱くなった。
- ・新たな視点での講義だった。学校現場への生かし方について考えさせられる内容だった。
- ・well-being とは何かを考えるよい機会になった。視覚障害の方の気持ちに触れ、自分の認識を変えなくてはいけないと思った。

アイデアや工夫したこと：※3～5つ程度の箇条書きしてください。

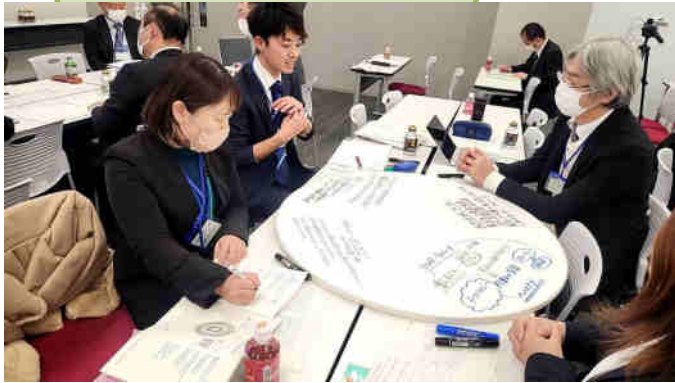
- ① 科学研究に関わる一般企業の研究者を講師に招き、教育界にはなかなか知り得ることができない世界における出来事や知見、価値観等に触れられるようにしたこと。
- ② 光通信に関わるテクノロジーという新たな視点から、令和の日本型教育でも注目されている Well-being について考える機会を設けたこと。
- ③ 学部4年生はもちろんのこと、3年生にも広報を広げ、幅広い立場の者同士が学び合えるようにしたこと。
- ④ グループでの意見交流では、グループごとに大型の円形ホワイトボードを使用し、意見の整理をしやすくするとともに全体発表の際にも共有化が図られるようにしたこと。

<写真・図など>

講演の
様子



グループワーク
の様子



発表の
様子

